

平成25年度

租税教室実践発表資料



石巻市立石巻小学校
教諭 千葉 桂介

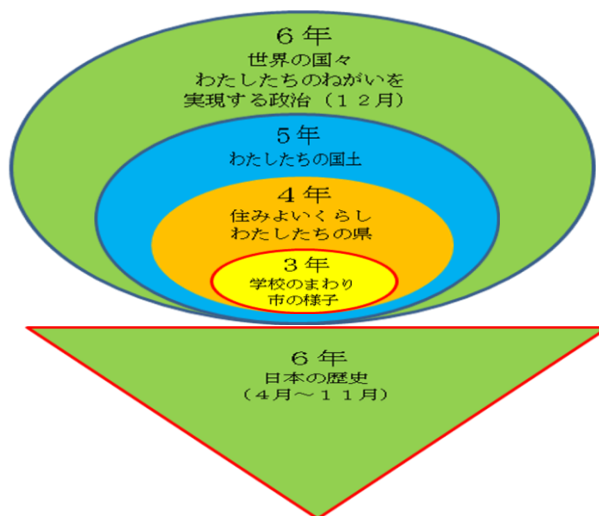
1 はじめに

税金がわたしたちの暮らしに役立っていることは、6年生の子どもたちも頭では理解している。しかしながら、アンケート等の結果を見ると、それは漠然とした知識である。具体的な税の使い道、さらに税の種類となると、すぐに思いつくのは「消費税」ぐらいであり、その他の知識についてはかなり曖昧である。

6年生の社会科の学習で、税について取り上げられるのは、「日本の歴史」における「租・庸・調」や「年貢」といった文言である。ここまでは、納めることの厳しさや持っていかれるものといったネガティブなイメージをもつものである。具体的な「税の働き」についての学習は、12月に1時間で学習する「わたしたちの生活と政治」の内容である。この間に、税についての認識を高めるために、租税教室を実施することとした。そこで、税の大切さや必要性について関心をもち、政治や国の将来について考えていけるような素地を養いたいと思っている。

2 小学校での社会科の学習から

3年生からの社会科においては、まず身近な地域について学習する。その後4年生では県についての学習、5年生で全国の産業、わたしたちの国土について、6年生で歴史、政治、世界としたいに範囲が広がるように学習していく。この中で、学校や公民館、警察署、消防署など公共の施設や貿易など、税が関わっている内容を学習していく。



3 小学校学習指導要領より

【第6学年】

2 内容

(2) 我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。

ア 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。

イ 日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務などの国家や国民生活の基本を定めること。

3 内容の取扱い (抜粋)

「租税の役割」

(中略) 国や県、市によって行われている社会保障、災害復旧の取組、地域開発などに必要な費用は租税によってまかなわれていること、それらは国民によっておさめられていることなどを理解し、租税が大切な役割を果たしていることを考えることができるようにする。

「国民としての権利及び義務」

(中略) 国民は権利を行使する一方で、勤労や納税の義務などを果たす必要がある。
(中略) 納税の義務として、税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解できるようにする。

4 本校での税に関する指導の取組

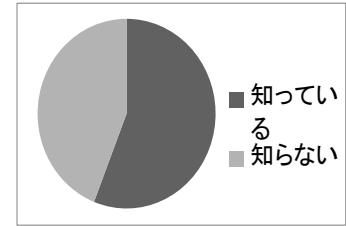
回	単元・題材名	教科書での扱い	指導の機会
1	『日本の歴史』 2 天皇中心の国づくり 「大化の改新と天皇の力の広がり」 (租・庸・調) 6 戦国の世から江戸の世へ 「人々のくらしと身分」 (年貢) 7 明治の国づくりを進めた人々 「大久保利通と富国強兵」 (地租改正)	<p>人々は、租・庸・調といった税を納めるとともに、役所や寺を建てたり、都や九州を守る兵士の役を<u>務めたりしなければなくなりました。</u></p> <p>奈良に新しい都(平城京)がつくられました。(中略)全国各地から品物を運んでくる人々で、はなやかににぎわいました。しかし、<u>そのにぎわいを支える地方の人々の生活は、重い税などのため、たいへん厳しいものでした。</u></p> <p>百姓は、名主(庄屋)とよばれる有力者を中心に自分たちでむらを運営しました。こうした村のまとまりを利用し、五人組という仕組みをつくらせて、<u>収穫の半分にもなる重い年貢を納めさせたりしました。</u></p> <p>国の収入を安定させるために、<u>土地に対する税のしくみも改めました。</u>こうした諸改革が進む一方で、新しい負担に苦しむ民衆による一揆も起こりました。</p>	社会の学習において、教科書に沿って指導
2	『事前アンケート』	・税についての認識度の確認	短学活
3	『租税教室』	<ul style="list-style-type: none"> ・税金とは何だろう？ ・税金の種類、使われ方 ・もし税金がなかったら ・小学生一人あたりに使われる税金 ・税金はなぜ必要か(DVD視聴) ・一億円はどれくらい？ 	社会(1)
4	『事後アンケート』	・租税教育後の変容	短学活
5	『わたしたちの生活と政治』 1 わたしたちの願いを実現する政治 「税金の働きを調べる」	<p>(中略) <u>住民や会社などから税金を集め、多くの人が必要とする公共的な事業を行っています。</u></p>	社会(1)

5 事前アンケート調査

(1) 調査（9月13日実施、対象：石巻小学校6年生41名）

1 税金の働きについて知っていることはありますか。

知っている・・・23人 知らない・・・18人



2 知っていることはどんなことですか。

- ・教科書が無償でもらえるのは、税金のおかげ
- ・国に納めるもの
- ・納めなくてはならないもの
- ・消費税率が上がる
- ・復興に使われる

3 税について、どんなイメージをもっていますか。

- ・国を成り立たせている大事なもの
- ・生活を苦しめている
- ・昔は苦しいもの
- ・大変
- ・負担

4 どんな税がありますか。

消費税・・・38人 住民税・・・2人 所得税・・・2人 印税・・・2人

5 消費税は知っていますか。

知っている・・・38人 知らない・・・3人

6 消費税は現在何%か知っていますか。

5%・・・19人 10%・・・4人 分からない・・・18人

7 消費税を上げるかどうか話題になっています。上げた方がいいですか。

【上げた方がよい】・・・1人

- ・国民のために使われていて、くらしがよくなるから。

【このままでよい】・・・22人

- ・ちょうどよい
- ・切りがよい
- ・低いと大変、高いと不満
- ・上げても下げても問題になる

【下げた方がよい】・・・18人

- ・お金を多く使うようになるから
- ・上げると払う金額が増える
- ・払う時困る
- ・負担になる

(2) 考察

- ・詳しい税についての学習は未習のため、関心が低い。
- ・今までの歴史上の税についての学習から、「税金は取られるもの」「生活を苦しめるもの」というイメージが強く、マイナスイメージが強い。
- ・消費税については知っているが、基礎的な知識については認知度が低い。

6 租税教室

(1) 目標

- ①国や県、市によって行われている社会保障、災害復旧の取組、地域開発などに必要な費用は租税によってまかなわれていること、それらは国民によっておさまられていることなどを理解し、租税が大切な役割を果たしていることを考えることができるようにする。
- ②税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解できるようにする。

(2) 実施期日 平成25年9月20日(金)

(3) 講師：石巻税務署 総務課 竹田 盛雄 様

(4) 対象 石巻小学校6年生45名(6年1組 23名、6年2組 22名)

(5) 実践内容

学習内容	学習での成果
1 税って何だろう？	・税務署の方から説明をいただき、税は社会の会費のようなものだということを知ることができた。
2 税の種類	・紙板書をもとに、税の種類と用途について知ることができた。
3 小学生一人当たりに使われる税金	・年間84万円もの税が一人一人に使われていることを知り、税金によって学習しやすい環境にあることを感じる事ができた。
4 税金はなぜ必要か (DVD視聴)	・DVDを視聴することで集中して学ぶことができ、税金の大切さについて理解することができた。
5 一億円はどれくらい？	・学級全員が高校を卒業するまでに、約2億円を税金から賄われていることを知り、お金の重みについて考えることができた。



7 事後アンケート

(1) 調査結果(9月24日実施、対象：石巻小学校6年生45名)

<p>1 税金の働きについて知ることができましたか。 はい・・・41人 いいえ・・・4人</p>	
<p>2 知ることができたのはどんなことですか。 ・いろいろな税の種類がある。 ・たかさんのことに税金が使われている。 ・いろいろなことに役立っている。 ・税金で国が成り立っている。 等</p>	
<p>3 税について、どんなイメージをもっていますか。 ・国を豊かにするために大切なもの。 ・大事なもの。 ・国民の生活に必要なもの。 ・消費税など払う時は自分にとって良くないけれど、必要なものなので普通にあってほしい。</p>	

4 どんな税がありますか。

消費税、所得税、住民税、ガソリン税、固定資産税、入湯税、酒税…

5 消費税は知っていますか。

知っている・・・45人 知らない・・・0人

6 消費税は現在何%か知っていますか。

5%…45人

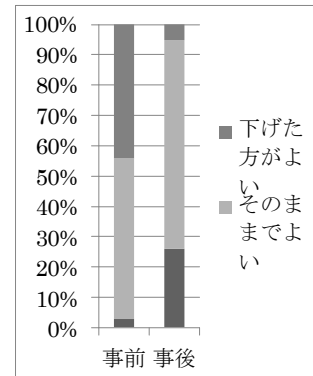
7 消費税を上げるかどうか話題になっています。上げた方がいいですか。

【上げた方がよい】・・・12人

- ・今より快適になるかも知れないから。
- ・国のために上げた方がよい。
- ・国や復興のためになるなら上げた方がよい。
- ・国の借金を減らすため。 等

【このままでよい】・・・31人

- ・慣れているのに変えると分からなくなる。
- ・上げると国民が反対する、下げると日本の未来があぶない。
- ・生活に苦しむ人も出ると思う。
- ・高いのも嫌だし、税金がないとだめだからこのままでよい。
- ・今の生活が不便ではないから。ですが、もう少しちゃんとしたことに使ってくれば上げてもいいと思う。 等



【下げた方がよい】・・・2人

- ・安くものを買えるから。

(2) 児童の感想

税金はわたしたちの生活にとっても大切だということが分かった。

税金がないと全部自分たちで支払わなければならない、今より大変になることが分かった。

税についてもっと知りたいと思った。税を勉強するのがおもしろいと思った。

消費税がとっても大切だということが分かった。

いろいろな税でわたしたちの生活は守られていることが分かった。

ごみの処理や公園の管理などいろいろな所に税金が使われていることがわかった。

ぼくたちに対して約83万円もの税が使われていることに驚きました。いろいろなものを大切に使おうと思う。

8 成果 (○) と課題 (●)

- 税に関する興味・関心が高まった。
- 税の大切さを知り、納税の大切さが分かった。しかし、児童の大方は現状維持を選択し、今の生活で満足に感じていることがうかがえる。
- 自分の身の周りだけを考えるのではなく、国全体がどのようにすればよいかなど、広い見方ができるようになった。
- 税に対する関心や知識を高めるために、講師を招いて租税教室を実践することは有効であった。
- 発表のための租税教室という感が否めない。前の年から計画を立て、各学校での計画に位置付けられるようにしていく必要がある。
- 発表の時期を再検討する必要がある。

9 今後の指導

- 年間計画をもとに、6年社会の時間に指導する。
 - (1) 期日 平成25年12月 6年社会(下)「新しい社会」(東京書籍)で指導
 - (2) ねらい 市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて、資料を活用して必要な情報を読み取る。
 - (3) 参考資料 『わたしたちのくらしと税金』



(企画：宮城県租税教育推進協議会 制作：仙台国税局)